

LPガスCP速報(2019年2月積)

1. 2月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **440** ドル (前月比+10 ドル)

ブタン **470** ドル (前月比+50 ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が反発するなか、中国、インド需要が堅調、供給は減産の影響で中東玉に余剰感が少なく市況は後半に上昇傾向となった。

中東市場は、1月以降のOPEC協調減産で原油生産量が減少しLPG生産・輸出も削減、サウジのスポット販売に余剰感が少ないのに対し中国の春節需要一巡後も非米国玉への需要は高い。また、インドの需要も旺盛で、米国産の流入によりプロパン単体は余剰感があるもののブタンのタイト感が顕著になった。極東CFR市況は、第4週にはプロパン 435~440 ドル 、ブタン 475~490 ドル に続伸しプロパン、ブタン格差も拡大した。フレート市況(中東~日本)は、中東積み減少で、船舶需給緩和感から軟化し30~25 ドル 台で推移した。

米モンベルビュープロパンスポット価格をみると、原油市況の反騰を受けてスポット価格は堅調に推移、第4週には357~354 ドル どころで推移(グラフ②)、月間平均では345 ドル どころで前月比5 ドル の下落。全米プロパン在庫(グラフ①)は、寒波到来で需要が増加、輸出も堅調で12週連続で減少しているが、前年を13%上回り、5年平均のレンジ中央で推移している。

ナフサは原油に追随し堅調推移、月間平均は486 ドル 、前月比3 ドル の反発。バンカーC重油は原油に連れ反発、月間平均で374 ドル どころ、前月比7 ドル 高。

2月CPは前年同月比プロパン85 ドル 、ブタン35 ドル それぞれ低い。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン1ポイント、ブタン9ポイントそれぞれ上昇、前年同月比ではプロパン5ポイント低く、ブタン5ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	33.5	31.6	26.6	25.1	29.2
CP先物指標:P	405	435	425	435	425
CP先物指標:B	415	450	440	455	440

② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、年明け株安も46 ドル 台でスタート、米中貿易協議への期待などから株価が反発、リスク回避の動きが弱まり、9日には50 ドル 台を回復。OPECプラスの120万b/dの協調減産合意に関しサウジが減産強化を示し市況を下支え。中国の経済指標及び景気刺激策に不安と期待が交錯、IMFが世界経済見通しを下方修正するなど景気減速懸念が重しとなるなか、米国政府はベネズエラ国営石油会社(PDVSA)を制裁対象に指定し同国原油の供給減少懸念から年初来高値を更新し昨年11月以来の水準に戻している。

一方、米国内原油生産量は、シェール増産により過去最高を更新し1,190万bまで増加、原油輸入は820~708万b/dの低水準、原油輸出は高水準で200~300万bを維持、EIAでは原油・石油製品ネットで2020年第4四半期には輸出が輸入を上回るとみている。全米原油在庫は高水準、直近の在庫は対前年同期比106.6%。なお、米石油リグ稼働数は年明け後3週連続で減少したが、25日は増加し862基と高水準で推移。

NYMEXのWTI総取組高は、214~204万枚で推移。急落株価の反発で手仕舞い売りは一巡したもよう。なお、CFTC発表の大口投機玉の買越残高は米国政府機関の一部閉鎖により12月18日以降の資料発表が延期されている。2月1日に発表される予定。

○1月積みアラビアン・ライト(1月1~30日までで想定)は59.75 ドル (前月比+0.83 ドル)

熱量等価AL100% プロパン 489.89 ドル/トン ブタン 483.17 ドル/トン

AL比 プロパン 89.82% ブタン 97.27%

*上記ALはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

2. 2019年2月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	T T S	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	110.32	55,700	54,500	53,900	-2,300	+1,100	-2,400
②末日締め	109.98	47,800	48,900	48,300	-1,900	+1,500	-2,000

* T T S平均について、①が12月21日～1月20日、②1月1～31日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは1月29日までの価格を基にE I Nで試算（345ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切等の詳細はW e bサイトを参照。

